主・時之侍者・子宗都寺、毎月晦日可〻被〻遂〻結懈(解)〻候。摠門徒可〻爲〻悦喜〻候。

一、住院之長老御座之時、可〻有〻新命之請狀〻、幾月某日告退可〻仕候、其明日寺可〻請取〻候之由御定候而、寺慥御渡候者可〻然候。不〻如〻此御退山之間、門徒之煩兎角不〻可〻申。向後可〻有〻御心得〻候也。

一、於〻寺中大造營大普請之時者、能登・加賀・越中遠處近處末寺御座之僧・比丘尼、或人夫二人三人、或下部之一人宛持(侍カ)陪堂而、十日十五日普請之御合力可〻有候。其故者、傳燈院・紹燈庵・大乘寺等、明峰門徒者如〻此候。今者如何候哉不〻存知〻候。依爲〻後證〻連判之狀如〻件。

應永九年壬午八月十五日

前住　侑　籍　在判　　珪　光　在判
前住　韶　麟　在判　　應　傳　在判
前住　善　救　在判　　良　聞
前住　聞　本　　子　宗　在判
前住　宗　令　在判　　宗　越　在判

應永十年　癸未　紀元二〇六三

二月九日。沙彌惣阿等、珠洲郡正院郷内の下地を往古の例に任せて同郡高座宮の神田となす。

【須須神社文書】　珠洲郡　七二一

能登國殊々(マヽ)郡高座宮自〻往古〻寄進下地之事

合肆段伍者　坪正院郷内岩坂屋敷杜(垣)内、元四段落下參段之分、同杜外壹段伍

右彼下地、自〻往古〻依〻高座宮神田〻、以〻壹石參斗法〻、結〻懈(解)彼下地肆段伍之分〻、天長地久、殊爲〻長谷部賴連家門繁昌〻、如〻此任〻往古〻、高座宮神田向申處之狀如〻件。

應永十年ひつじの(とし)弐月九日

沙彌　惣　阿　在判
沙彌　道　監　在判

閏十月廿八日。足利義滿、山城南禪寺領能美郡

得橋郷等の諸公事以下を免除し、守護使の入部を停む。

【南禪寺文書】　山城　七二二

南禪寺領諸國所々目錄在之諸公事・臨時課役并段錢・人夫以下國役事被〻免許〻畢。仍所〻停〻止守護使入部之狀如〻件。

應永十年閏十月廿八日

○

【南禪寺文書】　七二三

南禪寺領目錄

遠江國初倉庄内江富郷付上泉村、吉永郷、藤守郷、鮎河郷付河尻村、同國新庄郷(所)

加賀國得橋郷、同郷内佐野・牛嶋村・府南社神主職、同國笠間東保

播磨國矢野別名、大塩庄

備中國三成庄

但馬國池守(寺)庄、小佐郷

尾張國杜庄、次當寺門前敷地等

應永拾年閏十月　日

十一月十二日。幕府、加賀守護斯波義種をして、山城南禪寺領能美郡得橋郷等に諸公事以下を停止せしむ。

【南禪寺文書】　山城　七二四

南禪寺領加賀國得橋郷・同郷内佐野・牛嶋村三名・今村・苻(府)南社神主職、同國笠間東保、諸公事・臨時課役并反(段)錢・人夫以下國役、守護使不入事、早任〻去閏十月廿八日御判之旨〻、可〻被〻停止之由所〻被〻仰下〻也。仍執達如〻件。

應永十年十一月十二日　　沙(畠山基國)彌　在判

修理大夫(斯波義種)入道殿

應永十一年　甲申　紀元二〇六四

九月廿六日。幕府、近江延暦寺七ヶ所關務衆徒をして、山城臨川寺領加賀郡大野莊の年貢を勘